

## 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2018年9月19日〔当初、2021年4月19日〕まで（2011年6月6日設定）	
運用方針	資源関連国債マザーファンド受益証券、世界資源株マザーファンド受益証券およびグローバル農業関連株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、資源国の通貨建て公社債ならびにわが国を含む世界各国の資源関連および農業関連の株式等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。なお資源国とは、エネルギー資源、鉱物資源、食糧・食料資源等を産出する国で、その資源がその国の経済、あるいは世界の経済に影響を与えると委託会社が判断した国です。各マザーファンド受益証券への資金配分は、信託財産の純資産総額に対してそれぞれ75%、12.5%、12.5%を基本投資割合とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、実質組入比率の調整等を目的として為替予約取引等を活用する場合があります。世界資源株マザーファンドの運用の指図に関する権限は、コロナル・ファーストステート・アセットマネジメント（オーストラリア）リミテッドに委託します。グローバル農業関連株式マザーファンドの株式等の運用の指図に関する権限は、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託します。	
主要運用対象	ベビードファンド	資源関連国債マザーファンド受益証券、世界資源株マザーファンド受益証券およびグローバル農業関連株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル農業関連株式マザーファンド	わが国を含む世界各国の農業関連の株式等を主要投資対象とします。
	世界資源株マザーファンド	世界各国（除く日本）の資源関連の株式等を主要投資対象とします。
	資源関連国債マザーファンド	世界の資源国の通貨建て公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビードファンド	株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の40%以下とします。外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	グローバル農業関連株式マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
	世界資源株マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
	資源関連国債マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みません）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

## 償還報告書（全体版）

〔繰上償還〕

## 資源インカム・プラス・ファンド（毎月決算型）

愛称：夢資源



第83期（決算日：2018年5月21日）

第84期（決算日：2018年6月19日）

第85期（決算日：2018年7月19日）

第86期（決算日：2018年8月20日）

信託終了日：2018年9月19日



## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「資源インカム・プラス・ファンド（毎月決算型）」は、約款の規定に基づき、先般ご案内申し上げました予定通り、9月19日に繰り上げて償還させていただきました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル **0120-151034**  
（受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近29期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分 配	み 金	期 騰 落					
	円 銭		円	%	%	%	%	百万円	
59期(2016年5月19日)	8,778		25	△0.8	24.0	—	72.4	—	325
60期(2016年6月20日)	8,650		25	△1.2	24.3	—	72.3	—	319
61期(2016年7月19日)	9,065		25	5.1	24.6	—	72.0	—	334
62期(2016年8月19日)	8,706		25	△3.7	24.1	—	72.3	—	316
63期(2016年9月20日)	8,554		25	△1.5	24.1	—	71.7	—	246
64期(2016年10月19日)	8,908		25	4.4	24.0	—	71.2	—	255
65期(2016年11月21日)	9,051		25	1.9	24.9	—	71.9	—	259
66期(2016年12月19日)	9,603		25	6.4	24.3	—	71.0	—	274
67期(2017年1月19日)	9,818		25	2.5	23.9	—	70.6	—	280
68期(2017年2月20日)	9,927		25	1.4	24.5	—	72.3	—	353
69期(2017年3月21日)	9,837		25	△0.7	24.0	—	73.4	—	348
70期(2017年4月19日)	9,467		25	△3.5	23.9	—	72.9	—	339
71期(2017年5月19日)	9,290		25	△1.6	23.6	—	72.4	—	325
72期(2017年6月19日)	9,518		25	2.7	23.9	—	74.0	—	333
73期(2017年7月19日)	9,939		25	4.7	24.2	—	73.1	—	277
74期(2017年8月21日)	9,730		25	△1.9	24.1	—	74.0	—	262
75期(2017年9月19日)	10,089		25	3.9	24.8	—	72.2	—	270
76期(2017年10月19日)	10,178		25	1.1	23.9	—	72.9	—	267
77期(2017年11月20日)	9,842		25	△3.1	23.9	—	72.9	—	267
78期(2017年12月19日)	9,938		25	1.2	24.6	—	70.9	—	270
79期(2018年1月19日)	10,168		25	2.6	24.3	—	72.9	—	271
80期(2018年2月19日)	9,563		25	△5.7	24.2	—	72.9	—	253
81期(2018年3月19日)	9,329		25	△2.2	24.0	—	71.8	—	244
82期(2018年4月19日)	9,517		25	2.3	24.6	—	71.9	—	248
83期(2018年5月21日)	9,391		25	△1.1	25.2	—	70.8	—	243
84期(2018年6月19日)	9,156		25	△2.2	24.4	—	70.2	—	236
85期(2018年7月19日)	9,304		25	1.9	24.4	—	72.1	—	239
86期(2018年8月20日)	8,988		25	△3.1	24.2	—	71.8	—	206
(償還時)	(償還価額)								
87期(2018年9月19日)	8,932.14		—	△0.6	—	—	—	—	190

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、資源国の通貨建て公社債ならびにわが国を含む世界各国の資源関連および農業関連の株式等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは運動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 株式組入比率には、新株予約権証券を含めて表示しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額 円 銭	騰 落 率	株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			%	%	%	%	%
第83期	(期 首) 2018年4月19日	9,517	—	24.6	—	71.9	—
	4月末	9,423	△1.0	24.7	—	71.6	—
	(期 末) 2018年5月21日	9,416	△1.1	25.2	—	70.8	—
第84期	(期 首) 2018年5月21日	9,391	—	25.2	—	70.8	—
	5月末	9,203	△2.0	24.8	—	71.0	—
	(期 末) 2018年6月19日	9,181	△2.2	24.4	—	70.2	—
第85期	(期 首) 2018年6月19日	9,156	—	24.4	—	70.2	—
	6月末	9,081	△0.8	24.3	—	70.2	—
	(期 末) 2018年7月19日	9,329	1.9	24.4	—	72.1	—
第86期	(期 首) 2018年7月19日	9,304	—	24.4	—	72.1	—
	7月末	9,281	△0.2	24.4	—	71.9	—
	(期 末) 2018年8月20日	9,013	△3.1	24.2	—	71.8	—
第87期	(期 首) 2018年8月20日	8,988	—	24.2	—	71.8	—
	8月末	8,945	△0.5	—	—	—	—
	(償還時) 2018年9月19日	(償還価額) 8,932.14	△0.6	—	—	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 株式組入比率には、新株予約権証券を含めて表示しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

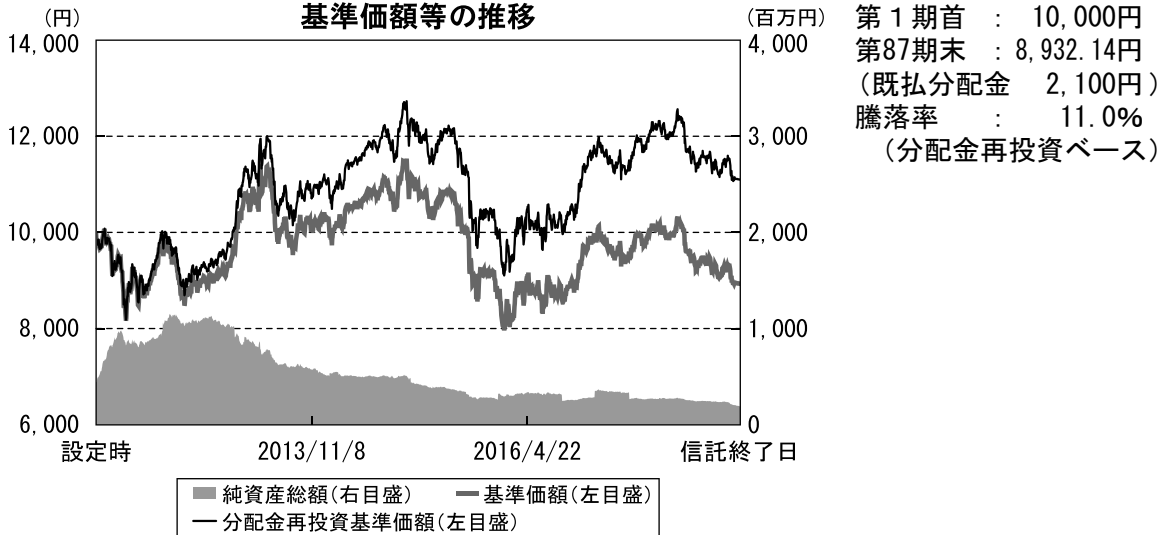
## 運用経過

### 設定来の基準価額等の推移について

（第1期～第87期：2011/6/6～2018/9/19）

#### 基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ11.0%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

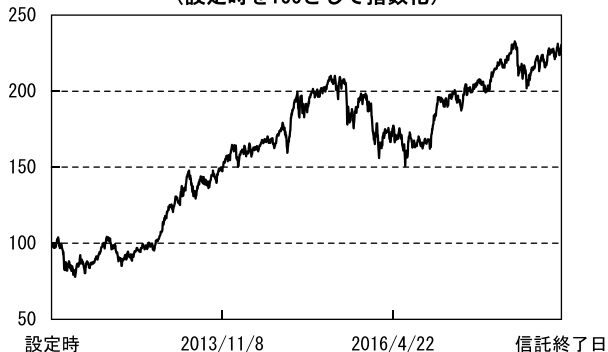
### 基準価額の主な変動要因

上昇要因	債券の利子収益を享受したことやブラジル・オーストラリアの金利が低下したこと、世界的に株式市況が上昇したことなどを背景に資源関連国債券マザーファンド、グローバル農業関連株式マザーファンドが上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	世界の資源関連の株式市況が下落したこと等を背景に世界資源株マザーファンドが下落したことが基準価額の下落要因となりました。

## 投資環境について

（第1期～第87期：2011/6/6～2018/9/19）

市況の推移  
（設定時を100として指数化）



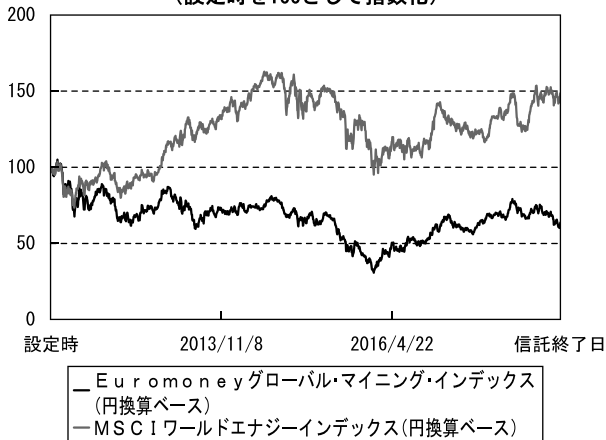
—MSCIワールドインデックス(円換算ベース)

### ◎農業関連株式市況

・グローバル株式市況は、設定時から、グローバルな景気回復期待に加え、米国の経済指標が良好であったことや米国のトランプ政権の政策期待が好感されて上昇しました。このような市場環境下、農業関連の株式も上昇しました。

（注）MSCIワールドインデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数です。MSCIワールドインデックス（円換算ベース）は、MSCIワールドインデックス（米ドルベース）をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCIワールドインデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

市況の推移  
（設定時を100として指数化）

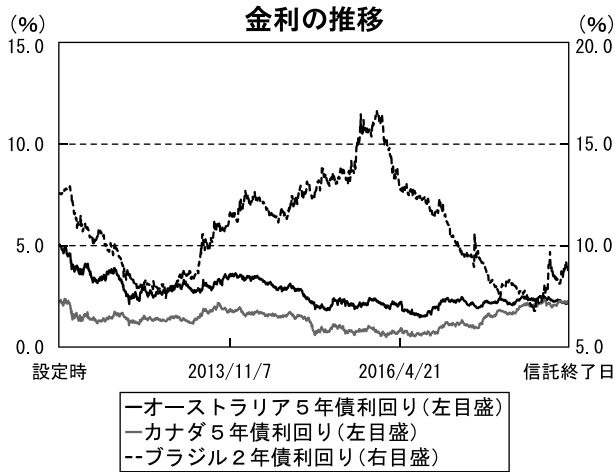


### ◎資源関連株式市況

・グローバル株式市況は、設定時から、グローバルな景気回復期待に加え、米国の経済指標が良好であったことや米国のトランプ政権の政策期待などが好感されて上昇しました。しかし、原油や非鉄金属価格が下落したことを受けて世界の資源関連の株式市況は下落しました。

（注）Euromoneyグローバル・マイニング・インデックス（円換算ベース）は、Euromoneyが算出・公表している世界の鉱山関連株式で構成される株価指数であるEuromoneyグローバル・マイニング・インデックスをもとに、委託会社が計算したものです。Euromoneyグローバル・マイニング・インデックスに関する著作権その他の知的財産権はEuromoneyに帰属しており、その許諾なしにこのインデックスの全部または一部を複製・配付・使用等することは禁じられています。

（注）MSCIワールドエナジーインデックス（円換算ベース）は、MSCI Inc.が開発した石油・天然ガス等エネルギー関連株式で構成される株価指数であるMSCIワールドエナジーインデックスをもとに委託会社が計算したものです。MSCIワールドエナジーインデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



（注）現地日付ベースで記載しております。

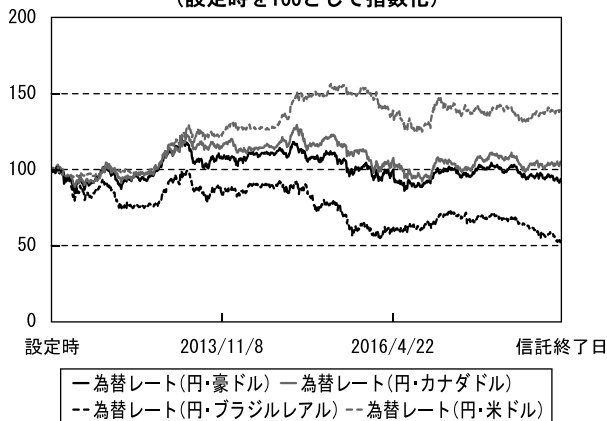
#### ◎債券市況

- ・ 設定時に比べ、オーストラリア、ブラジルの金利は低下しました。カナダでは、短中期ゾーンのコ利は上昇した一方、長期ゾーンのコ利は低下しました。
- ・ 設定時から2012年末にかけては、欧州債務問題の先行きに対する懸念が高まったことや、豪州連邦準備銀行（RBA）やブラジル中央銀行（BCB）の継続的な利下げを受けて、投資国の金利は低下しました。
- ・ 2013年末にかけては、欧州債務問題の先行きに対する懸念が和らぐ中、米連邦準備制度理事会（FRB）の量的金融緩和策における資産規模の早期縮小観測が高まったことなどを背景に、グローバルに金融市場が不安定化し、米国金利が上昇したことなどから、投資国の金利は上昇しました。また、ブラジルでは、インフレ圧力が高まる中、BCBが政策金利を継続的に引き上げたことなども、金利の上昇要因となりました。
- ・ その後、2015年末にかけては、米国金利の上昇が一服する中、ロシア・ウクライナなどの地政学リスクの高まりや、グローバルな景気先行き懸念等を背景に、オーストラリア・カナダのコ利は低下しました。また、RBAやカナダ銀行（BOC）が政策金利を引き下げたことなども、金利の低下要因となりました。
- ・ 一方、ブラジルでは、インフレ率が高止まりする中、BCBが継続的に政策金利を引き上げたことに加え、前記景気先行き懸念等を背景に、投資家のリスクセンチメントが悪化したことや、財政健全化の進捗を巡り大手格付会社により同国格付が引き下げられたことなどから、金利は上昇しました。

- ・ 2016年10月にかけては、米連邦公開市場委員会（FOMC）において政策金利見通しが引き下げられたことなどから、グローバルに金利が低下する中、投資国の金利も低下しました。また、ブラジルにおいては、インフレ懸念の後退や、政権交代による財政再建期待の高まりなども、金利の低下要因となりました。
- ・ しかし、11月の米大統領選挙以降、トランプ政権の財政政策に対する期待の高まりや、FOMCによる追加利上げペースが早まるとの思惑が台頭したことなどを背景に、グローバルに金利が上昇する中、オーストラリア・カナダの金利は上昇に転じました。また、カナダでは、BOCが継続的に利上げを実施したことも、金利の上昇要因となりました。
- ・ 一方、ブラジルでは、2017年末にかけては、インフレ圧力が後退する中、BCBが継続的に利下げを実施したことなどから、金利は低下基調で推移しました。その後は、米国の景気拡大期待を受けて米ドル高基調で推移したことなどを背景に一部の新興国からの資金流出懸念が高まったことや、2018年10月に控える大統領選挙に対する不透明感の高まりを受けて、金利は上昇に転じました。
- ・ 結果、設定時と比べてみると、オーストラリアの金利は低下しました。また、ブラジルでは、2016年末以降、BCBが継続的に利下げを実施したことなどから、設定時と比べてみると、短期ゾーン主導で金利は低下しました。カナダでは、前記BOCの利上げにより短中期ゾーン主導で金利が上昇したことなどから、設定時と比べてみると、短中期ゾーンの金利は上昇したものの、長期ゾーンの金利は低下しました。



為替市況の推移  
（設定時を100として指数化）



### ◎為替市況

- ・設定時に比べ、豪ドル・ブラジルリアルは対円で下落した一方、カナダドルは対円で上昇しました。
- ・2012年11月にかけては、豪ドル・カナダドルは対円で概ねもみ合いで推移した一方、ブラジルリアルは、前記BCBによる継続的な利下げや、同国政府が為替市場への介入を実施するなど通貨高抑制に向けて強い姿勢を示したことなどから、対円で下落しました。
- ・しかし、12月に実施された本邦衆議院選挙において大胆な金融緩和の必要性を主張する自民党が圧勝したことを受け、日銀の追加金融緩和観測が高まったことなどから、円が主要通貨に対して売られる展開となり、投資国通貨は対円で上昇に転じ、2014年末にかけて概ね堅調に推移しました。
- ・その後、2016年10月にかけては、グローバルに景気先行き懸念が高まる中、投資家のリスクセンチメントが悪化したことなどを背景に、円が主要通貨に対して買われる展開となり、投資国通貨は対円で下落基調で推移しました。
- ・その後、11月に実施された前記米大統領選挙の結果を受けて、米国における経済政策への期待が高まったことなどから、投資国通貨は上昇に転じました。一方で、ブラジルでは、2018年以降、米国の景気拡大期待を受けて米ドル高基調で推移したことなどを背景に一部の新興国からの資金流出懸念が高まったことなどを背景に、対円で下落に転じました。
- ・結果、設定時と比べてみると、豪ドル・ブラジルリアルは対円で下落した一方、カナダドルは対円で上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

**i** 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

### <資源インカム・プラス・ファンド（毎月決算型）>

- ・資源国の通貨建てソブリン債券ならびにわが国を含む世界各国の資源関連および農業関連の株式等を実質的な投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしました。
- ・資産配分は、ファンドの基本投資割合に準じて運用を行いました。

#### ◎運用状況

##### <第1作成期（第1期～第4期：設定時～2011年10月19日）>

基準価額は設定時に比べ11.6%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

##### <第2作成期（第5期～第10期：2011年10月20日～2012年4月19日）>

基準価額は当作成期首に比べ9.1%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

##### <第3作成期（第11期～第16期：2012年4月20日～2012年10月19日）>

基準価額は当作成期首に比べ0.9%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

##### <第4作成期（第17期～第22期：2012年10月20日～2013年4月19日）>

基準価額は当作成期首に比べ19.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

##### <第5作成期（第23期～第28期：2013年4月20日～2013年10月21日）>

基準価額は当作成期首に比べ4.0%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

##### <第6作成期（第29期～第34期：2013年10月22日～2014年4月21日）>

基準価額は当作成期首に比べ4.1%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

##### <第7作成期（第35期～第40期：2014年4月22日～2014年10月20日）>

基準価額は当作成期首に比べ1.6%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

##### <第8作成期（第41期～第46期：2014年10月21日～2015年4月20日）>

基準価額は当作成期首に比べ2.1%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

##### <第9作成期（第47期～第52期：2015年4月21日～2015年10月19日）>

基準価額は当作成期首に比べ13.0%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

##### <第10作成期（第53期～第58期：2015年10月20日～2016年4月19日）>

基準価額は当作成期首に比べ0.9%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

<第11作成期（第59期～第64期：2016年4月20日～2016年10月19日）>  
 基準価額は当作成期首に比べ2.1%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

<第12作成期（第65期～第70期：2016年10月20日～2017年4月19日）>  
 基準価額は当作成期首に比べ7.9%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

<第13作成期（第71期～第76期：2017年4月20日～2017年10月19日）>  
 基準価額は当作成期首に比べ9.2%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

<第14作成期（第77期～第82期：2017年10月20日～2018年4月19日）>  
 基準価額は当作成期首に比べ5.0%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

<第15作成期（第83期～第87期：2018年4月20日～信託終了日）>  
 償還価額は当作成期首に比べ5.1%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

なお、第15作成期の基準価額の変動要因の内訳は、以下の通りです。

（内訳）

グローバル農業関連株式マザーファンド 0.7%程度

世界資源株マザーファンド △0.9%程度

資源関連国債マザーファンド △4.2%程度

その他（信託報酬等） △0.7%程度

#### <グローバル農業関連株式マザーファンド>

基準価額は設定時に比べ51.5%の上昇となりました。

- ・世界各国（含む日本）の農業関連の株式等を高位に組み入れた運用を行い、値上がり益の獲得をめざしました。

<第1作成期（第1期～第4期：設定時～2011年10月19日）>

基準価額は設定時に比べ20.6%の下落となりました。

- ・作成期末にかけての農産物市況の下落に加えて、市場予想を下回る業績発表などが嫌気されたMOSAIC CO/THE（アメリカ）や市場予想を下回る利益見通しの発表などを受けてK+S AG-REG（ドイツ）の株価が下落したことがマイナスに影響しました。また、対円で米ドル、カナダドルなどが下落したこともマイナスに影響しました。

<第2作成期（第5期～第10期：2011年10月20日～2012年4月19日）>

基準価額は当作成期首に比べ12.8%の上昇となりました。

- ・作成期の後半にかけて農産物市況が堅調に推移したことから、農薬・肥料セクターや農業経営セクターなどを中心に株価が上昇したことがプラス寄与しました。個別銘柄では、原

材料コストの低下を受けて業績拡大期待が高まったCF INDUSTRIES HOLDINGS INC（アメリカ）や市場予想を上回る業績発表などが好感されたAGRIUM INC（カナダ）の株価が上昇したことがプラスに寄与しました。また、対円で米ドルなどが上昇したこともプラスに寄与しました。

<第3作成期（第11期～第16期：2012年4月20日～2012年10月19日）>

基準価額は当作成期首に比べ0.7%の上昇となりました。

- ・農産物市況の上昇を受けて業績拡大期待が高まった農薬・肥料セクターなどを中心に株価が上昇したことがプラスに寄与しました。個別銘柄では、市場予想を上回る堅調な業績発表などが好感されたMONSANTO CO（アメリカ）や農産物市況の上昇や明るい事業環境見通しなどが好感されたAGRIUM INC（カナダ）の株価が上昇したことがプラスに寄与しました。一方、対円で米ドルなどが下落したことはマイナスに影響しました。

<第4作成期（第17期～第22期：2012年10月20日～2013年4月19日）>

基準価額は当作成期首に比べ23.5%の上昇となりました。

- ・農産物市況は軟調に推移したものの、個別企業の業績拡大期待の高まりを受けて農薬・肥料セクターなどを中心に株価が上昇したことがプラス寄与しました。個別銘柄では、市場予想を上回る好調な業績発表に加えて、特許使用を巡る訴訟の和解成立などが好感されたMONSANTO CO（アメリカ）や好調な業績推移への期待や明るい事業環境見通しなどが好感されたMARINE HARVEST（ノルウェー）の株価が上昇したことがプラスに寄与しました。また、対円で米ドルなどが上昇したことがプラスに寄与しました。

<第5作成期（第23期～第28期：2013年4月20日～2013年10月21日）>

基準価額は当作成期首に比べ2.8%の上昇となりました。

- ・農産物市況は軟調に推移したものの、個別企業の業績拡大期待の高まりを受けて農業経営セクターなどを中心に株価が上昇したことがプラスに寄与しました。個別銘柄では、明るい事業環境見通しを示したことなどが好感されたBUNGE LTD（アメリカ）や主力の農薬販売好調を背景とする業績見通しの上方修正などが好感された日本農薬（日本）の株価が上昇したことがプラスに寄与しました。また、為替は対円でまちまちの動きとなりました。

<第6作成期（第29期～第34期：2013年10月22日～2014年4月21日）>

基準価額は当作成期首に比べ10.2%の上昇となりました。

- ・農産物市況が堅調に推移したことを背景に個別企業の業績拡大期待の高まりを受けて農薬・肥料セクターなどを中心に株価が上昇したことがプラスに寄与しました。個別銘柄では、市場予想を上回る業績発表や明るい事業環境見通しなどが好感されたTYSON FOODS INC-CL A（アメリカ）や好調な業績発表に加えて、海外事業拡大への期待などが好感された日本農薬（日本）の株価が上昇したことがプラスに寄与しました。また、対円で米ドルなどが上昇したこともプラスに寄与しました。

## ＜第7作成期（第35期～第40期：2014年4月22日～2014年10月20日）＞

基準価額は当作成期首に比べ1.2%の下落となりました。

- ・農産物市況が軟調に推移したことを背景に個別企業の業績の先行き不透明感を受けて農薬・肥料セクターなどを中心に株価が下落したことがマイナスに影響しました。個別銘柄では、市場予想を下回る業績発表や穀物の良好な収穫見通しが嫌気されたSYNGENTA AG-REG（スイス）や軟調な穀物市況を受け、業績が市場予想を下回ったことなどが嫌気されたAGRIUM INC（カナダ）の株価が下落したことがマイナスに影響しました。一方、対円で米ドルなどが上昇したことがプラスに寄与しました。

## ＜第8作成期（第41期～第46期：2014年10月21日～2015年4月20日）＞

基準価額は当作成期首に比べ17.6%の上昇となりました。

- ・農業関連株式が上昇したことがプラスに寄与しました。個別銘柄では、配当性向の引き上げを発表したことが好感されたAGRIUM INC（カナダ）などの株価が上昇したことがプラスに寄与しました。また、対円で米ドルなどが上昇したことがプラスに寄与しました。

## ＜第9作成期（第47期～第52期：2015年4月21日～2015年10月19日）＞

基準価額は当作成期首に比べ12.0%の下落となりました。

- ・農業関連株式が下落したことがマイナスに影響しました。低水準の穀物価格を受け農作物生産を助ける肥料の需要が減退するとの見通しを背景に化学肥料銘柄などが下落したことがマイナスに影響しました。また、対円でカナダドルなどが下落したこともマイナスに影響しました。

## ＜第10作成期（第53期～第58期：2015年10月20日～2016年4月19日）＞

基準価額は当作成期首に比べ12.5%の下落となりました。

- ・農業関連株式が下落したことがマイナスに影響しました。個別銘柄では、窒素肥料の供給過剰が嫌気されたCF INDUSTRIES HOLDINGS INC（アメリカ）や穀物価格の下落による農家の経営環境の悪化から肥料需要が低迷するとの見通しなどが嫌気されたPOTASH CORP OF SASKATCHEWAN（カナダ）などの株価が下落したことがマイナスに影響しました。対円で米ドルなどが下落したこともマイナスに影響しました。

## ＜第11作成期（第59期～第64期：2016年4月20日～2016年10月19日）＞

基準価額は当作成期首に比べ2.7%の下落となりました。

- ・窒素肥料価格の値下がりに加え、オランダの肥料会社の買収提案を撤回したことが嫌気されたCF INDUSTRIES HOLDINGS INC（アメリカ）の株価が下落したことがマイナスに影響しました。また、対円で米ドルなどが下落したこともマイナスに影響しました。

## ＜第12作成期（第65期～第70期：2016年10月20日～2017年4月19日）＞

基準価額は当作成期首に比べ15.2%の上昇となりました。

- ・農業関連株式が上昇したことがプラスに寄与しました。個別銘柄では、コスト削減による

利益率の改善期待や尿素肥料価格の上昇などが好感されたCF INDUSTRIES HOLDINGS INC（アメリカ）などの株価が上昇したことがプラスに寄与しました。また、米ドルなど主要通貨が対円で上昇したことがプラスに寄与しました。

<第13作成期（第71期～第76期：2017年4月20日～2017年10月19日）>

基準価額は当作成期首に比べ13.7%の上昇となりました。

- ・農業関連株式が上昇したことがプラスに寄与しました。個別銘柄では、尿素価格の上昇などが好感されたCF INDUSTRIES HOLDINGS INC（アメリカ）の株価が上昇したことがプラスに寄与しました。また、米ドルなど主要通貨が対円で上昇したこともプラスに寄与しました。

<第14作成期（第77期～第82期：2017年10月20日～2018年4月19日）>

基準価額は当作成期首に比べ3.6%の下落となりました。

- ・農業関連株式が上昇したことがプラスに寄与しました。個別銘柄では、窒素肥料価格の上昇が期待されたCF INDUSTRIES HOLDINGS INC（アメリカ）の株価が上昇したことがプラスに寄与しました。しかし、米ドルなど主要通貨が概ね対円で下落したことがマイナスに影響しました。

<第15作成期（第83期～第87期：2018年4月20日～信託終了日）>

基準価額は当作成期首に比べ9.3%の上昇となりました。

- ・農業関連株式が上昇したことがプラスに寄与しました。個別銘柄では、2018年4－6月期決算が市場予想を上回ったことなどが好感されたNUTRIEN LTD（カナダ）やCF INDUSTRIES HOLDINGS INC（アメリカ）の株価が上昇したことがプラスに寄与しました。また、米ドルが対円で上昇したことがプラスに寄与しました。

<世界資源株マザーファンド>

基準価額は設定時に比べ18.0%の下落となりました。

- ・世界各国（除く日本）の資源関連の株式等を高位に組み入れた運用を行い、値上がり益の獲得をめざしました。

<第1作成期（第1期～第4期：設定時～2011年10月19日）>

基準価額は設定時に比べ23.5%の下落となりました。

- ・欧州財政やグローバル景気への懸念などマクロ環境悪化に伴う需要減退懸念から銅や原油などが総じて下落したことを背景として多角経営銘柄の下落がマイナスに影響しました。また、対円で米ドルや英ポンド、カナダドルなどが下落したこともマイナスに影響しました。

<第2作成期（第5期～第10期：2011年10月20日～2012年4月19日）>

基準価額は当作成期首に比べ6.6%の上昇となりました。

- ・中東情勢の緊迫化などを受けて原油が上昇したほか、グローバルな景況感の改善から銅などが上昇したことを背景として多角経営銘柄が概ね堅調に推移したことがプラスに寄与し



ました。また、対円で米ドルや英ポンド、カナダドルなどが上昇したこともプラスに寄与しました。

<第3作成期（第11期～第16期：2012年4月20日～2012年10月19日）>

基準価額は当作成期首に比べ5.8%の下落となりました。

- ・中国景気の減速懸念などを背景に鉄鉱石や石炭市況が下落したことを受けて、多角経営銘柄や石炭関連銘柄などが軟調に推移したことがマイナスに影響しました。また、対円で米ドルや英ポンド、カナダドルなどが下落したこともマイナスに影響しました。

<第4作成期（第17期～第22期：2012年10月20日～2013年4月19日）>

基準価額は当作成期首に比べ4.1%の下落となりました。

- ・中国経済の先行き不透明感などを背景に非鉄金属や貴金属市況が下落したことを受けて、多角経営銘柄や金関連銘柄などを中心に下落したことがマイナスに影響しました。一方、対円で米ドルや英ポンド、カナダドルなどが上昇したことがプラスに寄与しました。

<第5作成期（第23期～第28期：2013年4月20日～2013年10月21日）>

基準価額は当作成期首に比べ11.0%の上昇となりました。

- ・欧米および中国における製造業活動の回復傾向などから多角経営銘柄やエネルギー銘柄などを中心に上昇したことがプラスに寄与しました。また、対円で英ポンドが上昇したこともプラスに寄与しました。

<第6作成期（第29期～第34期：2013年10月22日～2014年4月21日）>

基準価額は当作成期首に比べ9.8%の上昇となりました。

- ・個別企業の好調な業績などを背景に多角経営銘柄や金関連銘柄などを中心に上昇したことがプラスに寄与しました。また、対円で米ドルや英ポンドなどが上昇したこともプラスに寄与しました。

<第7作成期（第35期～第40期：2014年4月22日～2014年10月20日）>

基準価額は当作成期首に比べ6.2%の下落となりました。

- ・中国の景気先行き懸念などを背景に多角経営銘柄やエネルギー銘柄などを中心に下落したことがマイナスに影響しました。一方、対円で米ドルが上昇したことがプラスに寄与しました。

<第8作成期（第41期～第46期：2014年10月21日～2015年4月20日）>

基準価額は当作成期首に比べ2.7%の下落となりました。

- ・原油価格や鉄鉱石価格の下落に伴い保有する資源関連銘柄が下落したことがマイナスに影響しました。一方、対円で米ドルなどが上昇したことがプラスに寄与しました。

<第9作成期（第47期～第52期：2015年4月21日～2015年10月19日）>

基準価額は当作成期首に比べ16.6%の下落となりました。

- ・ 中国経済の減速によるリスク回避的な動きなどから資源関連銘柄が下落したことがマイナスに影響しました。また、対円で豪ドルが下落したこともマイナスに影響しました。

<第10作成期（第53期～第58期：2015年10月20日～2016年4月19日）>

基準価額は当作成期首に比べ6.7%の下落となりました。

- ・ 中国の需要鈍化が懸念される中、多角経営銘柄が下落したことがマイナスに影響しました。また、対円で英ポンドや米ドル、カナダドルなどが下落したこともマイナスに影響しました。

<第11作成期（第59期～第64期：2016年4月20日～2016年10月19日）>

基準価額は当作成期首に比べ6.3%の上昇となりました。

- ・ 中国の需要回復期待や米国の利上げ観測の後退などから非鉄金属価格は概ね堅調に推移しました。また、石油輸出国機構（OPEC）の減産合意などから需給改善期待が高まったことなどをを受けて原油価格が上昇したことを背景として資源関連銘柄が上昇したことがプラスに寄与しました。一方で、対円でカナダドルや英ポンド、豪ドルなどが下落したことがマイナスに影響しました。

<第12作成期（第65期～第70期：2016年10月20日～2017年4月19日）>

基準価額は当作成期首に比べ11.2%の上昇となりました。

- ・ 米国の財政支出拡大に対する期待感やチリの鉱山でのストライキなどが好感され銅などの非鉄金属価格が上昇したことを背景として資源関連銘柄が上昇したことがプラスに寄与しました。また、対円で英ポンドや米ドル、カナダドルなどが上昇したこともプラスに寄与しました。

<第13作成期（第71期～第76期：2017年4月20日～2017年10月19日）>

基準価額は当作成期首に比べ14.8%の上昇となりました。

- ・ 中国の需要増加の兆しに加え、鉱山での労働争議などが好感され銅などの非鉄金属価格が上昇したことを背景として多角経営銘柄などが上昇したことがプラスに寄与しました。また、対円でカナダドルや豪ドル、英ポンドなどが上昇したこともプラスに寄与しました。

<第14作成期（第77期～第82期：2017年10月20日～2018年4月19日）>

基準価額は当作成期首に比べ1.7%の上昇となりました。

- ・ 原油や非鉄金属価格が概ね堅調に推移したことを受けて多角経営銘柄などが上昇したことがプラスに寄与しました。一方、対円でカナダドルや豪ドルなどが下落したことがマイナスに影響しました。

<第15作成期（第83期～第87期：2018年4月20日～信託終了日）>

基準価額は当作成期首に比べ6.8%の下落となりました。

- ・ 非鉄金属や金価格が下落したことを受けて銅や金関連銘柄などが下落したことなどがマイナスに影響しました。また、対円で英ポンドや豪ドルなどが下落したこともマイナスに影



響しました。

#### <資源関連国債マザーファンド>

償還価額は設定時に比べ24.5%の上昇となりました。

- ・資源関連国通貨建て（豪ドル、ブラジルレアル、カナダドル）の公社債を高位に組み入れた運用を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしました。

#### <第1作成期（第1期～第4期：設定時～2011年10月19日）>

基準価額は設定時に比べ7.8%の下落となりました。

- ・オーストラリア・カナダ・ブラジルの金利が低下したことや、債券の利子収益を享受したことなどがプラスに寄与したものの、ブラジルレアル・豪ドル・カナダドルが対円で下落したことなどがマイナスに影響したことなどから、基準価額は下落しました。

#### <第2作成期（第5期～第10期：2011年10月20日～2012年4月19日）>

基準価額は当作成期首に比べ9.6%の上昇となりました。

- ・ブラジルレアルが対円で下落したことなどがマイナスに影響したものの、カナダドル・豪ドルが対円で上昇したことや、債券の利子収益を享受したこと、ブラジル・オーストラリアの金利が低下したことなどがプラスに寄与したことなどから、基準価額は上昇しました。

#### <第3作成期（第11期～第16期：2012年4月20日～2012年10月19日）>

基準価額は当作成期首に比べ0.3%の上昇となりました。

- ・ブラジルレアル・豪ドル・カナダドルが対円で下落したことなどがマイナスに影響したものの、ブラジル・オーストラリア・カナダの金利が低下したことや、債券の利子収益を享受したことなどがプラスに寄与したことなどから、基準価額は上昇しました。

#### <第4作成期（第17期～第22期：2012年10月20日～2013年4月19日）>

基準価額は当作成期首に比べ24.7%の上昇となりました。

- ・ブラジル・オーストラリアの金利が上昇したことなどがマイナスに影響したものの、ブラジルレアル・豪ドル・カナダドルが対円で上昇したことや、債券の利子収益を享受したこと、カナダの金利が低下したことなどがプラスに寄与したことなどから、基準価額は上昇しました。

#### <第5作成期（第23期～第28期：2013年4月20日～2013年10月21日）>

基準価額は当作成期首に比べ6.6%の下落となりました。

- ・債券の利子収益を享受したことなどがプラスに寄与したものの、ブラジルレアル・豪ドル・カナダドルが対円で下落したことや、ブラジル・カナダ・オーストラリアの金利が上昇したことなどがマイナスに影響したことなどから、基準価額は下落しました。

#### <第6作成期（第29期～第34期：2013年10月22日～2014年4月21日）>

基準価額は当作成期首に比べ2.9%の上昇となりました。

- ・カナダドルが対円で下落したことや、ブラジルの金利が上昇したことなどがマイナスに影響したものの、債券の利子収益を享受したことや、ブラジルリアル・豪ドルが対円で上昇したこと、カナダ・オーストラリアの金利が低下したことなどがプラスに寄与したことなどから、基準価額は上昇しました。

<第7作成期（第35期～第40期：2014年4月22日～2014年10月20日）>

基準価額は当作成期首に比べ4.3%の上昇となりました。

- ・ブラジルリアル・豪ドルが対円で下落したことなどがマイナスに影響したものの、債券の利子収益を享受したことや、オーストラリア・ブラジル・カナダの金利が低下したこと、カナダドルが対円で上昇したことなどがプラスに寄与したことなどから、基準価額は上昇しました。

<第8作成期（第41期～第46期：2014年10月21日～2015年4月20日）>

基準価額は当作成期首に比べ1.3%の上昇となりました。

- ・ブラジルリアル・豪ドルが対円で下落したことや、ブラジルの金利が上昇したことなどがマイナスに影響したものの、債券の利子収益を享受したことや、オーストラリア・カナダの金利が低下したこと、カナダドルが対円で上昇したことなどがプラスに寄与したことなどから、基準価額は上昇しました。

<第9作成期（第47期～第52期：2015年4月21日～2015年10月19日）>

基準価額は当作成期首に比べ12.0%の下落となりました。

- ・債券の利子収益を享受したことなどがプラスに寄与したものの、ブラジルリアル・豪ドル・カナダドルが対円で下落したことや、ブラジル・オーストラリアの金利が上昇したことなどがマイナスに影響したことなどから、基準価額は下落しました。

<第10作成期（第53期～第58期：2015年10月20日～2016年4月19日）>

基準価額は当作成期首に比べ3.3%の上昇となりました。

- ・カナダドル・豪ドル・ブラジルリアルが対円で下落したことなどがマイナスに影響したものの、ブラジル・カナダの金利が低下したことや、債券の利子収益を享受したことなどがプラスに寄与したことなどから、基準価額は上昇しました。

<第11作成期（第59期～第64期：2016年4月20日～2016年10月19日）>

基準価額は当作成期首に比べ3.2%の上昇となりました。

- ・カナダドル・豪ドルが対円で下落したことなどがマイナスに影響したものの、債券の利子収益を享受したことや、ブラジルリアルが対円で上昇したこと、ブラジル・カナダの金利が低下したことなどがプラスに寄与したことなどから、基準価額は上昇しました。

<第12作成期（第65期～第70期：2016年10月20日～2017年4月19日）>

基準価額は当作成期首に比べ7.0%の上昇となりました。

- ・カナダ・オーストラリアの金利が上昇したことなどがマイナスに影響したものの、ブラジルリアル・豪ドル・カナダドルが対円で上昇したことや、債券の利子収益を享受したこと、ブラジルの金利が低下したことなどがプラスに寄与したことなどから、基準価額は上昇しました。

<第13作成期（第71期～第76期：2017年4月20日～2017年10月19日）>

基準価額は当作成期首に比べ8.5%の上昇となりました。

- ・カナダ・オーストラリアの金利が上昇したことなどがマイナスに影響したものの、カナダドル・豪ドル・ブラジルリアルが対円で上昇したことや、債券の利子収益を享受したこと、ブラジルの金利が低下したことなどがプラスに寄与したことなどから、基準価額は上昇しました。

<第14作成期（第77期～第82期：2017年10月20日～2018年4月19日）>

基準価額は当作成期首に比べ5.7%の下落となりました。

- ・債券の利子収益を享受したことや、ブラジルの金利が低下したことなどがプラスに寄与したものの、ブラジルリアル・カナダドル・豪ドルが対円で下落したことや、カナダ・オーストラリアの金利が上昇したことなどがマイナスに影響したことなどから、基準価額は下落しました。

<第15作成期（第83期～第87期：2018年4月20日～信託終了日）>

償還価額は当作成期首に比べ5.6%の下落となりました。

- ・債券の利子収益を享受したことや、カナダドルが対円で上昇したこと、オーストラリアの金利が低下したことなどがプラスに寄与したものの、ブラジルリアル・豪ドルが対円で下落したことや、ブラジルの金利が上昇したことなどがマイナスに影響したことなどから、基準価額は下落しました。
- ・2018年8月下旬に、保有資産の売却を開始し、安定運用に切り替えました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、資源国の通貨建て公社債ならびにわが国を含む世界各国の資源関連および農業関連の株式等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、第3期～第86期までは25円の分配とさせていただきました。なお、信託約款の規定に従い第2期までの収益分配は行っておりません。信託期間中、累計で2,100円の分配とさせていただきました。

### 【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第83期	第84期	第85期	第86期
	2018年4月20日～ 2018年5月21日	2018年5月22日～ 2018年6月19日	2018年6月20日～ 2018年7月19日	2018年7月20日～ 2018年8月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	25 0.266%	25 0.272%	25 0.268%	25 0.277%
当期の収益	10	4	25	9
当期の収益以外	14	20	—	15
翌期繰越分配対象額	2,458	2,437	2,518	2,503

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 償還価額

### <資源インカム・プラス・ファンド（毎月決算型）>

償還価額は8,932円14銭となりました。

信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年4月20日～2018年9月19日)

項 目	第83期～第87期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	52 (25) (25) ( 2 )	0.568 (0.273) (0.273) (0.023)	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数) ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価 ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	0 ( 0 )	0.001 (0.001)	(b) 売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	0 ( 0 )	0.000 (0.000)	(c) 有価証券取引税＝作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( そ の 他 )	4 ( 3 ) ( 0 ) ( 0 )	0.041 (0.034) (0.002) (0.005)	(d) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	56	0.610	
作成期中の平均基準価額は、9,191円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年4月20日～2018年9月19日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第83期～第87期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
世界資源株マザーファンド	866	1,154	24,538	31,034
グローバル農業関連株式マザーファンド	134	167	25,694	32,786
資源関連国債マザーファンド	1,118	1,437	141,052	176,233

○株式売買比率

(2018年4月20日～2018年9月19日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第83期～第87期	
	世界資源株マザーファンド	グローバル農業関連株式マザーファンド
(a) 当作成期中の株式売買金額	434,432千円	239,363千円
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	3,515,239千円	917,099千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.12	0.26

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2018年4月20日～2018年9月19日)

利害関係人との取引状況

<資源インカム・プラス・ファンド（毎月決算型）>

該当事項はございません。

<グローバル農業関連株式マザーファンド>

区 分	第83期～第87期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	75	—	—	186	25	13.4

平均保有割合 3.2%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

<世界資源株マザーファンド>

区 分	第83期～第87期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 369	百万円 —	% —	百万円 609	百万円 30	% 4.9

平均保有割合 0.8%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

<資源関連国債マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2018年9月19日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

銘	柄	第82期末	
		口	数
世界資源株マザーファンド			千口 23,672
グローバル農業関連株式マザーファンド			25,559
資源関連国債マザーファンド			139,933

○投資信託財産の構成

(2018年9月19日現在)

項 目	債 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 194,067	% 100.0
投資信託財産総額	194,067	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準（償還）価額の状況

項 目	第83期末	第84期末	第85期末	第86期末	償 還 時
	2018年5月21日現在	2018年6月19日現在	2018年7月19日現在	2018年8月20日現在	2018年9月19日現在
	円	円	円	円	円
(A) 資産	244,368,875	237,395,194	240,907,352	211,528,167	194,067,899
コール・ローン等	735,273	689,942	680,883	786,302	194,067,899
世界資源株マザーファンド(評価額)	31,349,064	29,208,224	29,756,078	25,471,526	—
グローバル農業関連株式マザーファンド(評価額)	31,544,804	29,736,504	29,829,466	26,185,496	—
資源関連国債マザーファンド(評価額)	180,079,484	177,097,730	179,943,473	154,491,712	—
未収入金	660,250	662,794	697,452	4,593,131	—
(B) 負債	939,610	904,316	908,008	5,004,379	3,482,635
未払収益分配金	648,013	645,726	644,887	574,430	—
未払解約金	—	—	—	4,160,801	3,261,440
未払信託報酬	290,628	257,735	262,247	268,254	220,113
未払利息	1	1	1	1	352
その他未払費用	968	854	873	893	730
(C) 純資産総額(A-B)	243,429,265	236,490,878	239,999,344	206,523,788	190,585,264
元本	259,205,594	258,290,631	257,954,879	229,772,325	213,370,162
次期繰越損益金	△ 15,776,329	△ 21,799,753	△ 17,955,535	△ 23,248,537	—
償還差損金	—	—	—	—	△ 22,784,898
(D) 受益権総口数	259,205,594口	258,290,631口	257,954,879口	229,772,325口	213,370,162口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,391円	9,156円	9,304円	8,988円	—
1万口当たり償還価額(C/D)	—	—	—	—	8,932円14銭



## ○損益の状況

項 目	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期
	2018年4月20日～ 2018年5月21日	2018年5月22日～ 2018年6月19日	2018年6月20日～ 2018年7月19日	2018年7月20日～ 2018年8月20日	2018年8月21日～ 2018年9月19日
	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 25	△ 22	△ 25	△ 25	△ 1,847
受取利息	—	—	—	—	25
支払利息	△ 25	△ 22	△ 25	△ 25	△ 1,872
(B) 有価証券売買損益	△ 2,304,677	△ 5,160,814	4,723,905	△ 6,404,516	△ 970,910
売買益	2,930,929	19,970	4,751,736	520,966	283,569
売買損	△ 5,235,606	△ 5,180,784	△ 27,831	△ 6,925,482	△ 1,254,479
(C) 信託報酬等	△ 291,596	△ 258,589	△ 263,120	△ 269,147	△ 220,843
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,596,298	△ 5,419,425	4,460,760	△ 6,673,688	△ 1,193,600
(E) 前期繰越損益金	△ 6,724,330	△ 9,900,877	△ 15,866,082	△ 10,692,664	△ 16,601,810
(F) 追加信託差損益金	△ 5,807,688	△ 5,833,725	△ 5,905,326	△ 5,307,755	△ 4,989,488
(配当等相当額)	( 45,933,740)	( 45,830,997)	( 45,856,905)	( 40,916,155)	( 38,050,021)
(売買損益相当額)	(△51,741,428)	(△51,664,722)	(△51,762,231)	(△46,223,910)	(△43,039,509)
(G) 計(D+E+F)	△ 15,128,316	△ 21,154,027	△ 17,310,648	△ 22,674,107	—
(H) 収益分配金	△ 648,013	△ 645,726	△ 644,887	△ 574,430	—
次期繰越損益金(G+H)	△ 15,776,329	△ 21,799,753	△ 17,955,535	△ 23,248,537	—
償還差損金(D+E+F+H)	—	—	—	—	△ 22,784,898
追加信託差損益金	△ 5,807,688	△ 5,833,725	△ 5,905,326	△ 5,307,755	—
(配当等相当額)	( 45,935,038)	( 45,831,506)	( 45,861,591)	( 40,916,987)	( —)
(売買損益相当額)	(△51,742,726)	(△51,665,231)	(△51,766,917)	(△46,224,742)	( —)
分配準備積立金	17,781,068	17,134,698	19,116,354	16,596,740	—
繰越損益金	△ 27,749,709	△ 33,100,726	△ 31,166,563	△ 34,537,522	—

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

- ① 作成期首（前作成期末）元本額 260,825,052円  
 作成期中追加設定元本額 4,886,748円  
 作成期中一部解約元本額 52,341,638円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.893214円です。
- ② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は22,784,898円です。
- ③ 分配金の計算過程

項 目	2018年4月20日～ 2018年5月21日	2018年5月22日～ 2018年6月19日	2018年6月20日～ 2018年7月19日	2018年7月20日～ 2018年8月20日
費用控除後の配当等収益額	274,781円	120,224円	2,733,805円	208,411円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	45,935,038円	45,831,506円	45,861,591円	40,916,987円
分配準備積立金額	18,154,300円	17,660,200円	17,027,436円	16,962,759円
当ファンドの分配対象収益額	64,364,119円	63,611,930円	65,622,832円	58,088,157円
1万口当たり収益分配対象額	2,483円	2,462円	2,543円	2,528円
1万口当たり分配金額	25円	25円	25円	25円
収益分配金総額	648,013円	645,726円	644,887円	574,430円

④ 「世界資源株マザーファンド」および「グローバル農業関連株式マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属するこれら親投資信託の信託財産の純資産総額に対し、次に定める率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

世界資源株マザーファンド

信託財産の純資産総額

100億円未満の部分 年10,000分の75

100億円以上200億円未満の部分 年10,000分の65

200億円以上の部分 年10,000分の60

グローバル農業関連株式マザーファンド

信託財産の純資産総額 年10,000分の80

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2011年6月6日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2018年9月19日		資産総額	194,067,899円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	3,482,635円
受益権口数	446,424,437口	213,370,162口	△233,054,275口	純資産総額	190,585,264円
元本額	446,424,437円	213,370,162円	△233,054,275円	受益権口数	213,370,162口
				1万円当たり償還金	8,932円14銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	735,608,991円	718,504,535円	9,767円	－円	－%
第2期	959,318,810	887,985,241	9,256	－	－
第3期	1,049,494,682	940,723,905	8,964	25	0.25
第4期	971,777,078	854,415,562	8,792	25	0.25
第5期	946,355,154	828,765,206	8,757	25	0.25
第6期	956,302,377	827,790,943	8,656	25	0.25
第7期	985,828,808	887,151,806	8,999	25	0.25
第8期	966,352,755	929,154,811	9,615	25	0.25
第9期	1,103,667,195	1,081,948,774	9,803	25	0.25
第10期	1,207,241,337	1,139,514,948	9,439	25	0.25
第11期	1,210,413,775	1,051,375,177	8,686	25	0.25
第12期	1,208,343,805	1,056,975,030	8,747	25	0.25
第13期	1,209,453,551	1,082,572,586	8,951	25	0.25
第14期	1,221,978,762	1,108,641,877	9,073	25	0.25
第15期	1,236,148,994	1,126,929,414	9,116	25	0.25
第16期	1,174,237,977	1,079,717,154	9,195	25	0.25
第17期	1,121,373,086	1,028,973,662	9,176	25	0.25
第18期	1,059,055,013	1,023,641,955	9,666	25	0.25
第19期	820,274,383	850,076,632	10,363	25	0.25
第20期	820,437,856	883,427,874	10,768	25	0.25
第21期	776,960,220	840,376,406	10,816	25	0.25
第22期	673,591,908	730,355,156	10,843	25	0.25
第23期	691,107,390	779,058,893	11,273	25	0.25
第24期	644,422,830	644,162,419	9,996	25	0.25
第25期	621,097,520	640,807,011	10,317	25	0.25
第26期	621,177,031	604,944,166	9,739	25	0.25
第27期	599,395,705	613,864,120	10,241	25	0.25
第28期	577,312,952	592,481,797	10,263	25	0.25
第29期	570,616,916	583,986,611	10,234	25	0.25
第30期	520,289,407	534,252,655	10,268	25	0.25
第31期	497,645,808	510,959,916	10,268	25	0.25

## 資源インカム・プラス・ファンド（毎月決算型）

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第32期	540,399,568円	547,480,975円	10,131円	25円	0.25%
第33期	498,270,670	503,572,027	10,106	25	0.25
第34期	486,306,859	512,097,654	10,530	25	0.25
第35期	474,593,803	501,728,837	10,572	25	0.25
第36期	465,399,478	498,764,334	10,717	25	0.25
第37期	463,736,574	502,547,031	10,837	25	0.25
第38期	460,591,364	500,319,102	10,863	25	0.25
第39期	455,960,666	504,085,565	11,055	25	0.25
第40期	461,043,106	486,469,954	10,552	25	0.25
第41期	445,758,785	502,955,376	11,283	25	0.25
第42期	436,155,741	481,186,907	11,032	25	0.25
第43期	385,902,801	424,717,118	11,006	25	0.25
第44期	377,243,078	406,049,906	10,764	25	0.25
第45期	374,608,951	388,691,217	10,376	25	0.25
第46期	367,152,684	390,210,627	10,628	25	0.25
第47期	360,222,398	390,009,851	10,827	25	0.25
第48期	340,152,142	368,629,425	10,837	25	0.25
第49期	338,857,113	350,946,130	10,357	25	0.25
第50期	314,348,592	313,783,727	9,982	25	0.25
第51期	310,384,101	267,195,522	8,609	25	0.25
第52期	308,045,321	280,617,894	9,110	25	0.25
第53期	305,683,368	281,653,245	9,214	25	0.25
第54期	299,333,585	259,312,219	8,663	25	0.25
第55期	365,879,112	294,378,526	8,046	25	0.25
第56期	366,263,405	299,970,311	8,190	25	0.25
第57期	364,728,358	324,235,318	8,890	25	0.25
第58期	369,546,178	327,816,544	8,871	25	0.25
第59期	371,373,586	325,977,985	8,778	25	0.25
第60期	369,627,913	319,727,702	8,650	25	0.25
第61期	368,568,588	334,096,557	9,065	25	0.25
第62期	363,904,184	316,810,800	8,706	25	0.25
第63期	288,552,128	246,819,972	8,554	25	0.25
第64期	287,131,763	255,781,629	8,908	25	0.25
第65期	286,607,656	259,411,270	9,051	25	0.25
第66期	285,434,848	274,117,349	9,603	25	0.25
第67期	285,879,500	280,686,031	9,818	25	0.25
第68期	356,505,589	353,889,799	9,927	25	0.25
第69期	354,253,310	348,462,049	9,837	25	0.25
第70期	359,018,431	339,890,544	9,467	25	0.25
第71期	350,374,614	325,490,969	9,290	25	0.25

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第72期	350,340,469円	333,462,993円	9,518円	25円	0.25%
第73期	279,114,948	277,425,941	9,939	25	0.25
第74期	270,222,016	262,914,688	9,730	25	0.25
第75期	268,412,711	270,789,267	10,089	25	0.25
第76期	262,977,924	267,665,478	10,178	25	0.25
第77期	271,738,287	267,446,054	9,842	25	0.25
第78期	271,970,457	270,273,632	9,938	25	0.25
第79期	267,179,076	271,677,751	10,168	25	0.25
第80期	265,200,849	253,624,723	9,563	25	0.25
第81期	261,648,946	244,095,823	9,329	25	0.25
第82期	260,825,052	248,224,057	9,517	25	0.25
第83期	259,205,594	243,429,265	9,391	25	0.25
第84期	258,290,631	236,490,878	9,156	25	0.25
第85期	257,954,879	239,999,344	9,304	25	0.25
第86期	229,772,325	206,523,788	8,988	25	0.25

## ○分配金のお知らせ

	第83期	第84期	第85期	第86期
1 万口当たり分配金（税込み）	25円	25円	25円	25円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

## ○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税込み）	8,932円14銭
----------------	-----------

◆償還金は償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆課税上の取り扱い

- ・個人受益者の場合、償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得等として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。
- ・特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

### 【お知らせ】

- ①受益権の口数が投資信託約款に定められた口数を下回っており、投資信託契約を解約することが受益者にとって有利であると認められるため、信託約款の規定に基づき、信託を終了しました。  
(2018年9月19日)
- ②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

## グローバル農業関連株式マザーファンド

### 《第21期》決算日2018年5月15日

[計算期間：2017年11月16日～2018年5月15日]

「グローバル農業関連株式マザーファンド」は、5月15日に第21期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第21期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	わが国を含む世界各国の株式等の中から、原則として農業関連の株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざします。組入れにあたっては、主に農業関連分野の生産性向上に資する企業の中から、収益性、成長性、割安度等を勘案し、投資銘柄を選別します。株式等の運用にあたっては、運用の指図に関する権限を、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託します。株式の組入比率は、原則として高位を維持します。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	わが国を含む世界各国の農業関連の株式等を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		( 参 考 指 数 )		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	MSCI ワールド インデックス (円換算ベース)	期 騰 落			
	円	%		%	%	%	百万円
17期(2016年5月16日)	9,698	△14.4	178,037.28	△12.2	94.0	—	1,284
18期(2016年11月15日)	10,112	4.3	182,582.79	2.6	97.5	—	1,202
19期(2017年5月15日)	11,603	14.7	214,719.25	17.6	98.6	—	1,184
20期(2017年11月15日)	12,547	8.1	230,577.86	7.4	98.2	—	1,096
21期(2018年5月15日)	12,365	△ 1.5	234,414.96	1.7	97.8	—	949

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI ワールド インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数です。MSCI ワールド インデックス (円換算ベース) は、MSCI ワールド インデックス (米ドルベース) をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI ワールド インデックスに対する著作権及びその他の財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 株式組入比率には、新株予約権証券を含めて表示しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 )		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	円	騰 落 率	MSCI ワールド インデックス (円換算ベース)	騰 落 率		
(期 首) 2017年11月15日	12,547	%	230,577.86	%	98.2	%
11月末	12,713	1.3	231,520.29	0.4	98.3	—
12月末	13,182	5.1	238,078.91	3.3	97.4	—
2018年1月末	13,120	4.6	240,873.03	4.5	97.5	—
2月末	12,481	△0.5	229,832.89	△0.3	98.5	—
3月末	11,777	△6.1	219,441.80	△4.8	98.2	—
4月末	12,116	△3.4	228,808.75	△0.8	98.0	—
(期 末) 2018年5月15日	12,365	△1.5	234,414.96	1.7	97.8	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 株式組入比率には、新株予約権証券を含めて表示しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

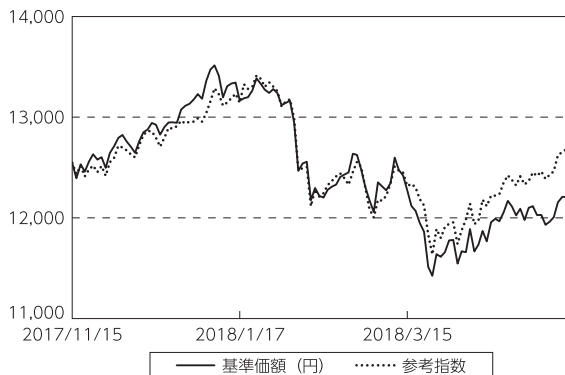
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ1.5%の下落となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●投資環境について

◎農業関連株式市況

- ・グローバル株式市況（現地通貨ベース）は、期首から2018年1月までは、米国の良好な経済指標の発表に加え、米税制改革による企業業績の改善期待の高まりなどを受け上昇しました。2月から3月にかけては、米利上げペースの加速や米国の輸入関税導入により世界的な貿易戦争が懸念され軟調な展開となりました。4月以降は、米中貿易摩擦問題において両国間で歩み寄りの姿勢が見られたことや、好調な米国企業決算などから上昇に転じました。
- ・穀物商品市況については、全般的に供給増加懸念の高まりから軟調に推移する場面はあったものの、米国やアルゼンチンの産地での乾燥による作況悪化懸念などからトウモロコシや大豆、小麦などが上昇しました。
- ・このような市場環境下、農業関連の株式は概ね上昇しました。

◎為替市況

- ・米ドルやカナダドルなどが対円で下落しました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・農薬・肥料や農業経営など農業生産性の向上に資する銘柄や農業ビジネスの上流に位置する銘柄の組入比率を高めとし、特に穀物価格の上昇を見込んで農薬・肥料関連銘柄を選好しました。
- ・個別銘柄では、窒素肥料価格の上昇が期待された肥料の製造販売業者の「CF INDUSTRIES HOLDINGS INC」(アメリカ)の株価が上昇しました。一方、2017年10-12月期決算が市場予想を下回った肥料メーカーの「YARA INTERNATIONAL ASA」(ノルウェー)の株価が下落しました。
- ・当期においては、保有する農業関連株式が上昇したものの、主要通貨が概ね対円で下落したことから基準価額は下落しました。

## ○今後の運用方針

## ◎運用環境の見通し

- ・主要穀物価格の下落が続いてきたことから、現在の価格は適正水準の下限にあると考えています。
- ・今後、供給面での引き締め進展などによる需給バランスの改善が農産物市況を下支えし、農業関連株式全般の投資サイクルは上向きに転じると見えています。
- ・米中貿易摩擦はリスク要因ではあるものの、中国を中心とした世界的な穀物需要拡大が予想されるため穀物価格は回復し、これにより生産者は収穫高を増やすために作付面積を拡大するか、より多くの肥料を使用するようになることが見込まれます。

## ◎今後の運用方針

- ・こうした投資環境の見通しの下、当ファンドでは、引き続き農薬・肥料関連銘柄を選好していきます。



○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年11月16日～2018年5月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 2 ( 2 )	% 0.016 (0.016)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	0 ( 0 )	0.002 (0.002)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	19 (18) ( 0 )	0.149 (0.147) (0.002)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	21	0.167	
期中の平均基準価額は、12,564円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2017年11月16日～2018年5月15日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 0.9	千円 2,102	千株 1	千円 3,912
外 国	アメリカ	百株 231	千アメリカドル 1,498	百株 306 ( 57)	千アメリカドル 1,613 ( 45)
	カナダ	37 (△ 81)	千カナダドル 214 ( ー)	196	千カナダドル 668
	ブラジル	105	千ブラジルレアル 281	434	千ブラジルレアル 441
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	—	—	5	12
	フランス	—	—	2	14
	フィンランド	—	—	4	8
	アイルランド	—	—	0.61	5
	イギリス	—	千イギリスポンド —	2	千イギリスポンド 6
	スイス	—	千スイスフラン —	27	千スイスフラン 225
	ノルウェー	—	千ノルウェークローネ —	22	千ノルウェークローネ 529
	デンマーク	—	千デンマーククローネ —	12	千デンマーククローネ 438
	香港	—	千香港ドル —	35	千香港ドル 30
	シンガポール	—	千シンガポールドル —	605	千シンガポールドル 85
	マレーシア	—	千マレーシアリングギット —	1,136	千マレーシアリングギット 203
	イスラエル	—	千イスラエルシェケル —	11	千イスラエルシェケル 17

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2017年11月16日～2018年5月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	509,189千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	996,467千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.51

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2017年11月16日～2018年5月15日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
為替直物取引	百万円 166	百万円 —	% —	百万円 298	百万円 22	% 7.4

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2018年5月15日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期		末
	株 数	金額	株 数	金額	評 価 額
食料品 (21.0%)	千株		千株		千円
明治ホールディングス	0.5		0.5		4,570
味の素	2.2		2.2		4,613
機械 (79.0%)					
クボタ	18.9		17.9		34,493
合 計	株 数	金 額	株 数	金 額	金 額
	銘 柄 数 < 比 率 >		銘 柄 数 < 比 率 >		< 比 率 >
		21	20	43,676	< 4.6% >
		3	3		

(注) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
CAMPBELL SOUP CO	7	7	28	3,137	食品・飲料・タバコ	
DEERE & CO	29	68	1,002	110,008	資本財	
DEAN FOODS CO	39	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
GENERAL MILLS INC	23	21	89	9,847	食品・飲料・タバコ	
HERSHEY CO/THE	5	5	47	5,209	食品・飲料・タバコ	
KELLOGG CO	10	9	57	6,258	食品・飲料・タバコ	
MONDELEZ INTERNATIONAL INC-A	60	54	213	23,405	食品・飲料・タバコ	
MONSANTO CO	118	56	703	77,184	素材	
MCCORMICK & CO-NON VGT SHRS	4	4	43	4,775	食品・飲料・タバコ	
CONAGRA BRANDS INC	16	14	55	6,048	食品・飲料・タバコ	
TYSON FOODS INC-CL A	11	9	63	6,916	食品・飲料・タバコ	
JM SMUCKER CO/THE	4	4	45	4,983	食品・飲料・タバコ	
ARCHER-DANIELS-MIDLAND CO	62	135	603	66,217	食品・飲料・タバコ	
BUNGE LTD	28	36	261	28,712	食品・飲料・タバコ	
AGCO CORP	21	43	282	31,024	資本財	
CF INDUSTRIES HOLDINGS INC	164	157	637	69,921	素材	
MOSAIC CO/THE	247	237	645	70,789	素材	
COSAN LTD-CLASS A SHARES	118	—	—	—	エネルギー	
FMC CORP	40	—	—	—	素材	
INGREDION INC	15	14	159	17,458	食品・飲料・タバコ	
GREEN PLAINS INC	—	45	89	9,791	エネルギー	
CNH INDUSTRIAL NV	187	169	210	23,107	資本財	
KRAFT HEINZ CO/THE	23	21	127	13,993	食品・飲料・タバコ	
MHP SE	54	49	66	7,287	食品・飲料・タバコ	
小計	株数・金額	430	189	1,242	106,536	
	銘柄数<比率>	4	3	—	<11.2%>	
(カナダ)			千カナダドル			
AGRIUM INC	38	—	—	—	素材	
POTASH CORP OF SASKATCHEWAN	364	—	—	—	素材	
SAPUTO INC	10	9	42	3,604	食品・飲料・タバコ	
WEST FRASER TIMBER CO LTD	16	15	137	11,794	素材	
NUTRIEN LTD	—	164	1,062	91,137	素材	
小計	株数・金額	430	189	1,242	106,536	
	銘柄数<比率>	4	3	—	<11.2%>	
(ブラジル)			千ブラジルレアル			
BRF SA	61	157	389	11,798	食品・飲料・タバコ	
SAO MARTINHO SA	76	68	110	3,353	食品・飲料・タバコ	
JBS SA	229	54	49	1,499	食品・飲料・タバコ	
MINERVA SA	242	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
小計	株数・金額	610	281	549	16,652	
	銘柄数<比率>	4	3	—	<1.8%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
K+S AG-REG	57	51	132	17,374	素材	
小計	株数・金額	57	51	132	17,374	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.8%>	
(ユーロ…フランス)						
DANONE	21	19	126	16,522	食品・飲料・タバコ	
小計	株数・金額	21	19	126	16,522	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.7%>	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…フィンランド)	百株	百株	千ユーロ	千円	
STORA ENSO OYJ-R SHS	22	20	34	4,580	素材
UPM-KYMMENE OYJ	21	19	60	7,898	素材
小 計	株 数 ・ 金 額	44	39	95	12,478
	銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	< 1.3% >
(ユーロ…アイルランド)					
KERRY GROUP PLC-A	6	5	50	6,662	食品・飲料・タバコ
小 計	株 数 ・ 金 額	6	5	50	6,662
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 0.7% >
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	129	116	404	53,037
	銘柄 数 < 比 率 >	5	5	—	< 5.6% >
(イギリス)			千イギリスポンド		
MONDI PLC	14	13	26	3,920	素材
ASSOCIATED BRITISH FOODS PLC	14	12	34	5,176	食品・飲料・タバコ
小 計	株 数 ・ 金 額	28	26	61	9,096
	銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	< 1.0% >
(スイス)			千スイスフラン		
NESTLE SA-REG	65	37	289	31,714	食品・飲料・タバコ
小 計	株 数 ・ 金 額	65	37	289	31,714
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 3.3% >
(ノルウェー)			千ノルウェークローネ		
ORKLA ASA	32	29	219	2,997	食品・飲料・タバコ
YARA INTERNATIONAL ASA	108	97	3,296	45,026	素材
MARINE HARVEST	17	8	136	1,866	食品・飲料・タバコ
小 計	株 数 ・ 金 額	158	135	3,652	49,890
	銘柄 数 < 比 率 >	3	3	—	< 5.3% >
(デンマーク)			千デンマーククローネ		
NOVOZYMES A/S-B SHARES	12	—	—	—	素材
小 計	株 数 ・ 金 額	12	—	—	—
	銘柄 数 < 比 率 >	1	—	—	< -% >
(香港)			千香港ドル		
WH GROUP LTD	351	316	260	3,644	食品・飲料・タバコ
小 計	株 数 ・ 金 額	351	316	260	3,644
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 0.4% >
(シンガポール)			千シンガポールドル		
GOLDEN AGRI-RESOURCES LTD	1,839	1,663	59	4,924	食品・飲料・タバコ
WILMAR INTERNATIONAL LTD	304	275	87	7,190	食品・飲料・タバコ
FIRST RESOURCES LTD	400	—	—	—	食品・飲料・タバコ
小 計	株 数 ・ 金 額	2,545	1,939	147	12,114
	銘柄 数 < 比 率 >	3	2	—	< 1.3% >
(マレーシア)			千マレーシアリンギット		
FELDA GLOBAL VENTURES	1,136	—	—	—	食品・飲料・タバコ
小 計	株 数 ・ 金 額	1,136	—	—	—
	銘柄 数 < 比 率 >	1	—	—	< -% >
(イスラエル)			千イスラエルシェケル		
ISRAEL CHEMICALS LTD	125	113	185	5,650	素材
小 計	株 数 ・ 金 額	125	113	185	5,650
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 0.6% >
合 計	株 数 ・ 金 額	6,891	4,321	—	884,416
	銘柄 数 < 比 率 >	49	42	—	< 93.2% >

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2018年5月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 928,093	% 97.7
コール・ローン等、その他	21,409	2.3
投資信託財産総額	949,502	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (895,880千円) の投資信託財産総額 (949,502千円) に対する比率は94.4%です。  
 (注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=109.74円	1 カナダドル=85.75円	1 ブラジルリアル=30.28円	1 ユーロ=131.00円
1 イギリスポンド=148.90円	1 スイスフラン=109.73円	1 ノルウェークローネ=13.66円	1 香港ドル=13.98円
1 シンガポールドル=82.21円	1 マレーシアリングギット=27.78円	1 イスラエルシケル=30.52円	

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年5月15日現在)

○損益の状況 (2017年11月16日～2018年5月15日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	949,600,806
コール・ローン等	18,063,587
株式(評価額)	928,093,627
未収入金	1,146,249
未収配当金	2,297,343
(B) 負債	384,969
未払金	98,524
未払解約金	286,433
未払利息	12
(C) 純資産総額(A-B)	949,215,837
元本	767,678,058
次期繰越損益金	181,537,779
(D) 受益権総口数	767,678,058口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,365円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	10,562,796
受取配当金	10,449,225
受取利息	31,831
その他収益金	84,774
支払利息	△ 3,034
(B) 有価証券売買損益	△ 21,905,731
売買益	56,207,854
売買損	△ 78,113,585
(C) 保管費用等	△ 1,512,407
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 12,855,342
(E) 前期繰越損益金	222,571,199
(F) 追加信託差損益金	267,718
(G) 解約差損益金	△ 28,445,796
(H) 計(D+E+F+G)	181,537,779
次期繰越損益金(H)	181,537,779

<注記事項>

- ①期首元本額 873,719,632円  
 期中追加設定元本額 1,276,263円  
 期中一部解約元本額 107,317,837円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.2365円です。

②期末における元本の内訳 (当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ グローバル農業関連株式ファンド	742,368,176円
資源インカム・プラス・ファンド (毎月決算型)	25,309,882円
合計	767,678,058円

[お知らせ]

当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。  
 (変更前 (旧) <http://www.am.mufg.jp/> → 変更後 (新) <https://www.am.mufg.jp/>)  
 (2018年1月1日)

## 世界資源株マザーファンド

### 《第25期》決算日2018年4月19日

[計算期間：2017年10月20日～2018年4月19日]

「世界資源株マザーファンド」は、4月19日に第25期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第25期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主として、世界各国（除く日本）の資源関連の株式等へ投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざします。組入れにあたっては、個別銘柄選択を重視し、埋蔵資源量、生産コスト、財務内容、マネジメント、成長性など企業のクオリティに着目して決定します。運用の指図に関する権限は、コロニアル・ファーストステート・アセットマネジメント（オーストラリア）リミテッドに委託します。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
主 要 運 用 対 象	世界各国（除く日本）の資源関連の株式等を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		(参考指数) Euromoneyグローバル・ マイニング・インデックス (円換算ベース)		(参考指数) MSCIワールド エナジーインデックス (円換算ベース)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純 資 産 総 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率				
	円	%		%		%	%	%	%	百万円
21期(2016年4月19日)	9,820	△ 6.7	27,105.41	△ 6.2	30,562.00	△13.3	96.6	—	—	5,522
22期(2016年10月19日)	10,442	6.3	29,536.59	9.0	31,397.24	2.7	97.1	—	—	5,465
23期(2017年4月19日)	11,613	11.2	34,122.58	15.5	33,172.79	5.7	96.1	—	—	5,637
24期(2017年10月19日)	13,326	14.8	40,115.97	17.6	35,876.47	8.2	94.9	—	—	4,059
25期(2018年4月19日)	13,549	1.7	41,582.51	3.7	37,870.34	5.6	95.3	—	—	3,756

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) Euromoneyグローバル・マイニング・インデックス（円換算ベース）は、Euromoneyが算出・公表している世界の鉱山関連株式で構成される株価指数であるEuromoneyグローバル・マイニング・インデックスをもとに、委託会社が計算したものです。Euromoneyグローバル・マイニング・インデックスに関する著作権その他の知的財産権はEuromoneyに帰属しており、その許諾なしにこのインデックスの全部または一部を複製・配付・使用等することは禁じられています。

(注) MSCIワールドエナジーインデックス（円換算ベース）は、MSCI Inc.が開発した石油・天然ガス等エネルギー関連株式で構成される株価指数であるMSCIワールドエナジーインデックスをもとに委託会社が計算したものです。MSCIワールドエナジーインデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 株式組入比率には、新株予約権証券を含めて表示しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 ) Euromoneyグローバル・ マイニング・インデックス (円換算ベース)		( 参 考 指 数 ) M S C I ワールド エナジーインデックス (円換算ベース)		株 式 組 入 比 率 %	株 先 物 比 率 %	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率 %
	円	騰 落 率 %	騰 落 率 %	騰 落 率 %					
(期首) 2017年10月19日	13,326	—	40,115.97	—	35,876.47	—	94.9	—	—
10月末	13,015	△2.3	39,333.28	△2.0	36,093.51	0.6	94.3	—	—
11月末	12,853	△3.5	38,790.59	△3.3	36,059.48	0.5	95.3	—	—
12月末	14,090	5.7	42,543.37	6.1	38,520.68	7.4	98.4	—	—
2018年1月末	13,906	4.4	43,434.41	8.3	38,139.05	6.3	97.3	—	—
2月末	13,226	△0.8	41,825.98	4.3	34,889.02	△2.8	96.1	—	—
3月末	12,475	△6.4	38,368.58	△4.4	34,259.64	△4.5	95.2	—	—
(期末) 2018年4月19日	13,549	1.7	41,582.51	3.7	37,870.34	5.6	95.3	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 株式組入比率には、新株予約権証券を含めて表示しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

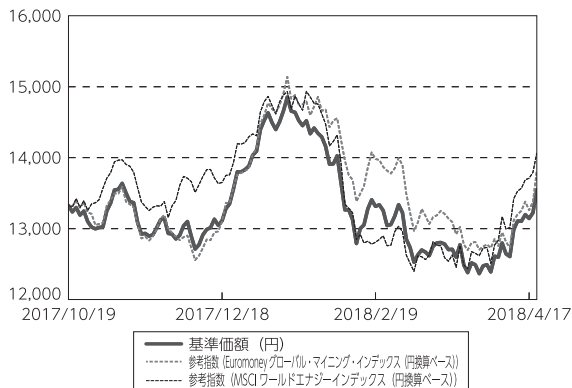
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ1.7%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ●投資環境について

## ◎資源関連株式市況

- ・グローバル株式市況は、期首から2018年1月までは、米国の良好な経済指標の発表に加え、米税制改革による企業業績の改善期待の高まりなどを受け上昇しました。2月以降は米利上げペースの加速や米国の輸入関税導入により世界的な貿易戦争が懸念され軟調な展開となりました。
- ・商品市況については、米国における原油在庫の減少に加え、石油輸出機構（OPEC）による協調減産の継続に対する期待などを受け原油価格は上昇しました。一方、銅価格は、中国の供給削減などは好感されたものの、米中間の貿易摩擦激化懸念などから下落し、小幅の上昇にとどまりました。
- ・このような市場環境下、世界の資源関連の株式市況は上昇しました。

## ◎為替市況

- ・カナダドルや豪ドル、米ドルなどが対円で下落しました。



- 当該投資信託のポートフォリオについて
  - ・多角経営銘柄を中心に、金属・鉱業セクターや原油関連銘柄などへ幅広い投資を継続しました。組入比率は高位を維持しました。
  - ・組入銘柄では、原油や非鉄金属価格が概ね堅調に推移したことを受けて、資源大手の「VALE SA-SP ADR」(ブラジル)や「BHP BILLITON LIMITED」(オーストラリア)などが上昇しました。
  - ・多角経営銘柄などが上昇したことがプラスとなり、基準価額は上昇しました。

## ○今後の運用方針

### ◎運用環境の見通し

- ・資源会社の経営においては、事業の継続上キャッシュフローの確保が重要となっており、事業構造の見直しを通じて収益性の改善が図られています。
- ・実際に、減産、鉱山閉鎖、設備投資の抑制などの施策が実施されてきていることが、企業発表や報道により確認できつつあります。
- ・こうした取り組みは将来的には資源需給の改善につながるものと予想しており、期待される効

果が現れてきたときの恩恵を享受しやすいという意味では、資源株は魅力的な投資機会を提供しているものと見ています。

### ◎今後の運用方針

- ・長期的な成長性と競争力のあるコスト構造の観点から企業の質を重視しつつ、短期的に米国の利上げ、中国景気の減速や保護主義政策の台頭などに注意し、セクターを分散して投資していく方針です。
- ・金属・鉱業セクターに関して、電気自動車市場の拡大などが期待されることから銅やニッケルなどが恩恵を受けると考えています。
- ・環境への配慮から中国の鉄鋼産業の需要減が見込まれることから低品質の鉄鉱石や原料炭などの需要は減少すると考えていますが、高品質の鉄鉱石や原料炭を採掘する企業についてはポジティブな見通しを持っています。
- ・原油などのエネルギーセクターについては、今後も需給の改善は続くと考えポジティブな見方をしています。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年10月20日～2018年4月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 2 (2)	% 0.015 (0.015)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	0 (0)	0.004 (0.004)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	7 (6) (1)	0.050 (0.045) (0.006)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	9	0.069	
期中の平均基準価額は、13,260円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2017年10月20日～2018年4月19日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外            国	アメリカ	百株 242	千アメリカドル 571	百株 180	千アメリカドル 698
	カナダ	917	千カナダドル 945	2,019	千カナダドル 1,747
	メキシコ	—	千メキシコペソ —	83	千メキシコペソ 3,598
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	フランス	—	—	2	10
	ルクセンブルク	—	—	3	5
	イギリス	128	千イギリスポンド 183	1,108	千イギリスポンド 391
	スウェーデン	—	千スウェーデンクローネ —	1	千スウェーデンクローネ 32
	デンマーク	11	千デンマーククローネ 482	1	千デンマーククローネ 45
	オーストラリア	14 ( — )	千オーストラリアドル 44 ( △ 12 )	21,463	千オーストラリアドル 1,834
	韓国	—	千韓国ウォン —	0.14	千韓国ウォン 5,624
	南アフリカ	—	千南アフリカランド —	418	千南アフリカランド 1,081

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2017年10月20日～2018年4月19日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	659,791千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,664,875千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.18

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年10月20日～2018年4月19日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 591	百万円 —	% —	百万円 932	百万円 87	% 9.3

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行です。

## ○組入資産の明細

(2018年4月19日現在)

## 外国株式

銘柄	株数	金額	当 期 末		業 種 等		
			株 数	株 数		評 価 額	
						外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円			
CHEVRON CORP	112	118	1,464	157,450	エネルギー		
VALE SA-SP ADR	1,225	1,299	1,820	195,657	素材		
EXXON MOBIL CORP	77	75	598	64,307	エネルギー		
HALLIBURTON CO	100	58	303	32,592	エネルギー		
SCHLUMBERGER LTD	63	61	431	46,393	エネルギー		
PATTERSON-UTI ENERGY INC	172	173	357	38,470	エネルギー		
EQT CORP	33	32	158	17,055	エネルギー		
CONCHO RESOURCES INC	60	59	928	99,780	エネルギー		
SOUTHERN COPPER CORP	221	168	968	104,107	素材		
TECHNIPFMC PLC	—	81	272	29,250	エネルギー		
小 計	株 数 ・ 金 額	2,066	2,128	7,303	785,066		
	銘柄 数 < 比 率 >	9	10	—	<20.9%>		
(カナダ)			千カナダドル				
TECK RESOURCES LTD-CLS B	382	409	1,394	118,622	素材		
CAMECO CORP	587	571	760	64,706	エネルギー		
CANADIAN NATURAL RESOURCES	262	255	1,153	98,158	エネルギー		
ENBRIDGE INC	228	208	872	74,212	エネルギー		
SUNCOR ENERGY INC	238	262	1,276	108,600	エネルギー		
AGNICO EAGLE MINES LTD	126	129	742	63,182	素材		
GOLDCORP INC	666	671	1,218	103,637	素材		
FIRST QUANTUM MINERALS LTD	717	636	1,184	100,725	素材		
TRICAN WELL SERVICE LTD	563	—	—	—	エネルギー		
LUNDIN MINING CORP	913	667	559	47,593	素材		
OCEANAGOLD CORP	707	807	279	23,774	素材		
FRANCO-NEVADA CORP	136	123	1,131	96,240	素材		
WHEATON PRECIOUS METALS CORP	243	237	650	55,374	素材		
LUCARA DIAMOND CORP	629	315	64	5,456	素材		
DETOUR GOLD CORP	412	449	683	58,181	素材		
ARC RESOURCES LTD	154	164	237	20,220	エネルギー		
MOUNTAIN PROVINCE DIAMONDS	1,176	1,025	307	26,160	素材		
PRAIRIESKY ROYALTY LTD	127	123	377	32,074	エネルギー		
SEVEN GENERATIONS ENERGY - A	253	247	426	36,272	エネルギー		
TOREX GOLD RESOURCES INC	160	—	—	—	素材		
HUDBAY MINERALS INC	420	478	456	38,851	素材		
TREVALI MINING CORP	4,939	4,799	590	50,222	素材		
GIBSON ENERGY INC	108	—	—	—	エネルギー		
MAG SILVER CORP	404	392	570	48,527	素材		
PRETIUM RESOURCES INC	533	666	614	52,294	素材		
ENDEAVOUR MINING CORP	196	228	498	42,399	素材		
ALAMOS GOLD INC-CLASS A	591	690	496	42,262	素材		
IVANHOE MINES LTD-CL A	598	818	226	19,284	素材		
TMAC RESOURCES INC	398	394	315	26,814	素材		
小 計	株 数 ・ 金 額	16,878	15,776	17,090	1,453,851		
	銘柄 数 < 比 率 >	29	26	—	<38.7%>		

銘柄	株数	期首(前期末)		当期		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(メキシコ)	百株	百株	千メキシコペソ	千円		
INDUSTRIAS PENOLES SAB DE CV	83	—	—	—	—	素材
小計	株数・金額	83	—	—	—	
	銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>	
(ユーロ…フランス)				千ユーロ		
TOTAL SA	83	81	404	53,725	—	エネルギー
小計	株数・金額	83	81	404	53,725	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.4%>	
(ユーロ…ルクセンブルク)						
TENARIS SA	140	136	206	27,500	—	エネルギー
小計	株数・金額	140	136	206	27,500	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.7%>	
ユーロ計	株数・金額	223	217	610	81,226	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<2.2%>	
(イギリス)				千イギリスポンド		
BHP BILLITON PLC	554	665	1,015	155,002	—	素材
ANTOFAGASTA PLC	342	333	323	49,428	—	素材
FRESNILLO PLC	117	114	150	22,936	—	素材
PETRA DIAMONDS LTD	3,459	3,368	216	33,052	—	素材
GLENCORE PLC	3,617	2,628	983	150,049	—	素材
小計	株数・金額	8,090	7,110	2,690	410,469	
	銘柄数<比率>	5	5	—	<10.9%>	
(スウェーデン)				千スウェーデンクローネ		
BOLIDEN AB	43	41	1,293	16,548	—	素材
小計	株数・金額	43	41	1,293	16,548	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.4%>	
(デンマーク)				千デンマーククローネ		
VESTAS WIND SYSTEMS A/S	30	40	1,665	29,727	—	資本財
小計	株数・金額	30	40	1,665	29,727	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.8%>	
(オーストラリア)				千オーストラリアドル		
BHP BILLITON LIMITED	1,480	1,393	4,190	350,698	—	素材
RIO TINTO LTD	478	466	3,681	308,042	—	素材
MINERAL DEPOSITS LTD	2,373	1,371	157	13,195	—	素材
WESTERN AREAS LTD	2,141	2,085	746	62,480	—	素材
WHITEHAVEN COAL LTD	907	883	403	33,799	—	エネルギー
INDEPENDENCE GROUP NL	1,462	126	65	5,484	—	素材
SUNDANCE ENERGY AUSTRALIA LT	7,617	—	—	—	—	エネルギー
EVOLUTION MINING LTD	1,146	—	—	—	—	素材
BEADELL RESOURCES LTD	9,984	9,874	84	7,106	—	素材
METRO MINING LTD	8,303	—	—	—	—	エネルギー
PARINGA RESOURCES LTD	1,752	—	—	—	—	エネルギー
小計	株数・金額	37,650	16,201	9,330	780,805	
	銘柄数<比率>	11	7	—	<20.8%>	
(韓国)				千韓国ウォン		
LG CHEM LTD	5	5	199,656	20,165	—	素材
小計	株数・金額	5	5	199,656	20,165	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.5%>	

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等	
		株 数	評 価 額		
			外貨建金額		邦貨換算金額
(南アフリカ) ROYAL BAFOKENG PLATINUM LTD	百株 418	百株 —	千円 —	千円 —	素材
小 計	株 数 ・ 金 額 418	—	—	—	—
	銘柄 数 < 比 率 >	1	—	< - % >	
合 計	株 数 ・ 金 額 65,490	41,521	—	3,577,860	
	銘柄 数 < 比 率 >	61	53	—	< 95.3 % >

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2018年4月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 3,577,860	% 95.2
コール・ローン等、その他	179,057	4.8
投資信託財産総額	3,756,917	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(3,719,888千円)の投資信託財産総額(3,756,917千円)に対する比率は99.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=107.49円	1 カナダドル=85.07円	1 メキシコペソ=5.95円	1 ユーロ=132.98円
1 イギリスポンド=152.58円	1 スウェーデンクローネ=12.79円	1 デンマーククローネ=17.85円	1 オーストラリアドル=83.68円
1 香港ドル=13.69円	100 韓国ウォン=10.10円		

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年4月19日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,780,586,919
コール・ローン等	166,803,551
株式(評価額)	3,577,860,004
未収入金	35,564,511
未収配当金	358,853
(B) 負債	24,417,498
未払金	23,731,195
未払解約金	686,228
未払利息	75
(C) 純資産総額(A-B)	3,756,169,421
元本	2,772,336,292
次期繰越損益金	983,833,129
(D) 受益権総口数	2,772,336,292口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,549円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 3,046,347,618円  
 期中追加設定元本額 3,384,517円  
 期中一部解約元本額 277,395,843円  
 また、1口当たり純資産額は、期末13,549円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

世界資源株ファンド	2,748,663,993円
資源インカム・プラス・ファンド(毎月決算型)	23,672,299円
合計	2,772,336,292円

## 【お知らせ】

当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。

(変更前(旧) <http://www.am.mufg.jp/> → 変更後(新) <https://www.am.mufg.jp/>)  
 (2018年1月1日)

## ○損益の状況 (2017年10月20日～2018年4月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	43,669,735
受取配当金	43,358,914
受取利息	319,592
その他収益金	2,829
支払利息	△ 11,600
(B) 有価証券売買損益	20,121,387
売買益	364,599,365
売買損	△ 344,477,978
(C) 保管費用等	△ 1,918,467
(D) 当期損益金(A+B+C)	61,872,655
(E) 前期繰越損益金	1,013,185,152
(F) 追加信託差損益金	1,053,552
(G) 解約差損益金	△ 92,278,230
(H) 計(D+E+F+G)	983,833,129
次期繰越損益金(H)	983,833,129

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。



## 資源関連国債マザーファンド

### 《繰上償還(第14期)》信託終了日2018年9月18日

[計算期間：2018年4月20日～2018年9月18日]

「資源関連国債マザーファンド」は、この度、約款の規定に基づき、9月18日に繰り上げて償還させていただきました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	世界の資源国（エネルギー資源、鉱物資源、食糧・食料資源等を産出する国で、その資源がその国の経済、あるいは世界の経済に影響を与えると委託会社が判断した国）の通貨建て公社債を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。投資にあたっては、信用状況、経済環境、取引規制等を総合的に勘案のうえ、投資対象通貨を複数選定します。投資対象通貨は3通貨を原則とし、各国通貨建て公社債の投資割合は、それぞれ概ね3分の1ずつとします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。ただし、組入比率の調整等を目的として為替予約取引等を活用する場合があります。
主 要 運 用 対 象	世界の資源国の通貨建ての国債、州政府債、政府保証債、政府機関債、国際機関債を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		期 騰 落	中 率			
	円 銭		%	%	%	百万円
10期(2016年10月19日)	12,051		3.2	95.2	—	191
11期(2017年4月19日)	12,890		7.0	97.0	—	255
12期(2017年10月19日)	13,981		8.5	97.2	—	200
13期(2018年4月19日)	13,190		△5.7	96.6	—	184
(償還時)	(償還価額)					
14期(2018年9月18日)	12,450.74		△5.6	—	—	146

(注) 当ファンドは、世界の資源国の通貨建て公社債を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基準	価 額		債 組	入 比	券 率	債 先	物 比	券 率
				騰	落						
	(期 首)		円 銭		%			%			%
	2018年	4月19日	13,190		—			96.6			—
	4月末		13,037		△1.2			96.5			—
	5月末		12,654		△4.1			95.4			—
	6月末		12,515		△5.1			93.7			—
	7月末		12,872		△2.4			96.2			—
	8月末		12,462		△5.5			—			—
	(償還時)		(償還価額)								
	2018年	9月18日	12,450.74		△5.6			—			—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

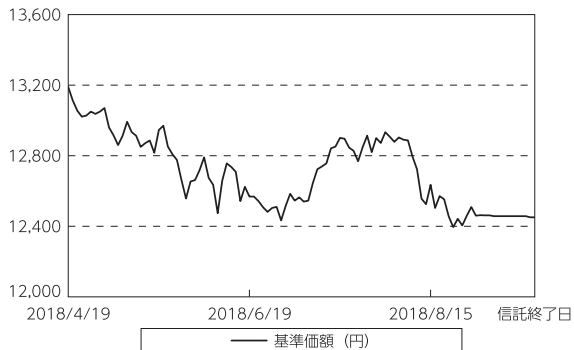
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

償還価額は期首に比べ5.6%の下落となりました。

## 基準価額等の推移



## ●投資環境について

## ◎債券市況

- ・オーストラリアの金利は低下した一方、ブラジル・カナダの金利は上昇しました。
- ・期首から2018年6月末にかけては、イタリアの政局不安を受けて質への逃避の動きが強まったことや、米国の保護主義的な通商政策への懸念が高まったことなどを背景に、オーストラリア・カナダの金利は低下基調で推移しました。一方、ブラジルでは、米国の景気拡大期待を受けて米ドル高基調で推移したことや、前記米国の保護主義的な通商政策への懸念が高まったことなどを背景に、一部の新興国に対する投資家のリスクセンチメントが悪化したことなどから、金利は上昇基調で推移しました。
- ・その後、期末にかけては、オーストラリアでは、日銀が金融政策の調整を検討するとの報道を受けて、金利は上昇する局面もあったものの、トルコ金融市場の混乱等を背景に質への逃避を強める動きが高まったことなどが金利低下要因となりました。一方、ブラジルでは、世界的な貿易摩擦への懸念の後退などから金利は低下する局面もあったものの、前記トルコ金融市場の混乱等を背景に一部の新興国に対する投資家のセンチメントが悪化したことなどから、金利は上

昇に転じました。また、カナダでは、カナダ銀行（BOC）が7月に利上げを実施し、また、7月末に発表された実質国内総生産（GDP）成長率が市場予想を上回ったことなどを背景に追加利上げ観測が高まったことなどから、金利は上昇しました。

- ・結果、期を通じてみると、オーストラリアの金利は低下した一方、カナダ・ブラジルの金利は上昇しました。

#### ◎為替市況

- ・豪ドル・ブラジルレアルは対円で下落した一方、カナダドルは対円で上昇しました。
- ・期首から2018年6月末にかけては、豪ドル・カナダドルは、両国の金利低下による本邦との金利差縮小等を背景に、対円で下落しました。また、ブラジルレアルは、前記米国の保護主義的な通商政策への懸念等を背景に投資家のリスクセンチメントが悪化したことや、燃料価格引き上げに反対するトラック運転手らによる大規模ストライキの経済への影響が懸念されたことなどを背景に、対円で下落基調で推移しました。
- ・その後、期末にかけては、世界的な貿易摩擦への懸念が後退したことなどを背景に、投資国通貨は対円で上昇に転じる局面もありましたが、前記トルコ金融市場の混乱等を背景に投資家のセンチメントが悪化したことなどが、豪ドル・ブラジルレアルの対円での下落要因となりました。一方、カナダドルは、前記追加利上げ観測が高まったことや、北米自由貿易協定（NAFTA）再交渉での米墨の合意が米加の通商交渉への好影響をもたらすことへの期待が高まったことなどが、対円での上昇要因となりました。
- ・結果、期を通じてみると、豪ドル・ブラジルレアルは対円で下落した一方、カナダドルは対円で上昇しました。

#### ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・2018年8月下旬までは、通貨別資産配分は均等を基本とし、資源関連国通貨建て（豪ドル、ブラジルレアル、カナダドル）の公社債で90%以上の組入比率を維持しました。組み入れにあたっては、利回り水準や流動性などを勘案し銘柄選択を行いました。また、種別構成については、流動性などを勘案し、国債のみを組み入れました。その後、保有資産の売却を開始し、安定運用に切り替えました。
- ・債券の利子収益を享受したことや、カナダドルが上昇したこと、オーストラリアの金利が低下したことなどがプラスに寄与したものの、ブラジルレアル・豪ドルが対円で下落したことや、ブラジルの金利が上昇したことなどがマイナスに影響したことなどから、基準価額は下落しました。

#### ●償還価額

償還価額は12,450円74銭となりました。

## ○1万口当たりの費用明細

(2018年4月20日～2018年9月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(14)	(0.108)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( そ の 他 )	( 1 )	(0.006)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	15	0.115	
期中の平均基準価額は、12,703円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年4月20日～2018年9月18日)

## 公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	カナダ	国債証券	千カナダドル 48	千カナダドル 765
	ブラジル	国債証券	千ブラジルレアル 340	千ブラジルレアル 2,048
	オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 81	千オーストラリアドル 788

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年4月20日～2018年9月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2018年9月18日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

## ○投資信託財産の構成

(2018年9月18日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 146,367	% 100.0
投資信託財産総額	146,367	100.0

## ○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2018年9月18日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	146,367,942
コール・ローン等	146,367,942
(B) 負債	255
未払利息	255
(C) 純資産総額(A-B)	146,367,687
元本	117,557,454
償還差益金	28,810,233
(D) 受益権総口数	117,557,454口
1万口当たり償還価額(C/D)	12,450円74銭

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 139,933,551円  
 期中追加設定元本額 1,118,772円  
 期中一部解約元本額 23,494,869円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.245074円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)  
 資源インカム・プラス・ファンド(毎月決算型) 117,557,454円

## 【お 知 ら せ】

当該投資信託を投資対象とする全ての投資信託が償還となるため、信託約款の規定に基づき、信託を終了しました。  
 (2018年9月18日)

## ○損益の状況 (2018年4月20日～2018年9月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	3,774,872
受取利息	3,779,796
支払利息	△ 4,924
(B) 有価証券売買損益	△13,359,475
売買益	1,306,598
売買損	△14,666,073
(C) 保管費用等	△ 196,272
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 9,780,875
(E) 前期繰越損益金	44,643,776
(F) 追加信託差損益金	318,664
(G) 解約差損益金	△ 6,371,332
償還差益金(D+E+F+G)	28,810,233

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。